

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月7日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機 補助海水ポンプ(A)および(B)モーター冷却水出口弁のグランドからのにじみについて】 5号機 補助海水ポンプ(A)および(B)モーター冷却水出口弁のグランドからのにじみを確認。 当該弁(A)(B)のグランドの増し締めを実施したが、にじみ量に変化なし。 今後、弁の点検予定。</p>	GⅢ	12月26日
2	<p>【6号機 増設淡水化装置移送ポンプからの潤滑油漏えいについて】 当社社員のパトロールにおいて、6号機 増設淡水化装置移送ポンプ下部に約30mlの油溜まりを発見。 確認の結果、ポンプ潤滑油ドレンラインのねじ込み部より漏えいしたことを確認。 増設淡水化装置の運転を停止し、漏えいが停止したことを確認。 油を拭き取り、油受け皿を設置。 その後、ねじ込み部にコーキングを実施。</p>	GⅢ	1月5日